

ひとりひとりから学ぶことの多さには驚かされる。

しばらく前に雪氷学会の大会プログラムで、学生会員、特に若い会員を増やすにはどうしたら良いかを話し合ったことを覚えている。もちろんそのひとつの答えは「教育」である。雪氷学会の公開講演会や雪氷楽会の活動は、子供を含めた一般

市民に雪氷の大切さと楽しさを伝えている。そんな活動で雪氷に興味を抱いた若い人達が、さらに深く雪氷に関わっていきける、そんな大学・大学院レベルの教育も重要だ。雪氷楽会のように楽しく、世界水準の極地科学教育カリキュラムをつかっていきたい。

(2009年1月30日受付)

### 平成 21 年度中谷宇吉郎科学奨励賞の授賞候補者公募

石川県加賀市が、科学の振興に寄与するため、標記の賞の表彰を行います。そのうち、雪氷学の分野で日本を代表する大学院生等若手研究者を当学会が毎年 1 名、同市教育委員会に推薦することになっています。この対象者は、「雪」「氷」の研究に取り組み、国際会議等で優秀な研究発表を行い、将来においても雪氷学の研究に携わる意欲のある者とされています。

平成 20 年度（第 13 回）は、安成哲平氏（総合地球環境学研究所研究員）を推薦しましたが、同氏は平成 21 年 2 月に加賀市において本奨励賞を受賞されました。

つきましては、次に該当すると思われる方の自薦を公募します。また、該当者にお心あたりのある方は、当人に応募を奨めてください。「中谷宇吉郎科学奨励賞の授賞者推薦内規」により選考されます。（内規骨子は本誌 59 巻 3 号 218p の理事会議事録に掲載）。

**対象者：**大学院生、研究生または若手の助手その他、概ね 30 才以下の雪氷学研究者で優れた修士論文、博士論文またはそれらと同等の論文、あるいは国際学会等で既に発表もしくはこれから発表する論文を有する方。

**応募方法：**氏名、所属、身分、生年月日、略歴、学位、応募者についての照会先 2 名の氏名・連絡先を記載し、自薦書（400 字～800 字）、該当論文とその要旨（参考論文があればそのリスト）を添えて、平成 21 年 7 月 31 日までに学会事務局へ提出してください。

なお、この奨励賞では、副賞として加賀市から賞金が授与されます。